



亀中だより

No.43 卒業記念号

令和5年3月3日 文責:岡田

For The Students!

Congratulations on your graduation!



～人間は経験したのからしか言葉と行動は出てきません～

みなさんは右の写真の人物をご存じでしょうか。見ての通り、この方はレーシングドライバーです。彼の名は豊田章男さん。しかし彼にはもう一つの顔があります。日本を代表する企業「トヨタ自動車(株)」の社長さんです。ただ、1月26日に発表されたように、4月1日より自らは社長を退き、会長へ、そして新たに執行役員でエンジニア出身の佐藤恒治氏が社長の座に就任するそうです。

企業においてトップの交代は、珍しいことではありません。むしろ時代とともに必ずやってくるものですが、豊田社長の生き様や言葉には学ぶところがたくさんあります。

なぜ豊田前社長は、レーシングドライバーなのでしょう。その発端は彼がまだ社長になる前のこと、当時トヨタのテストドライバーのトップであった成瀬弘(故人)さんから受けた一言がきっかけです。成瀬さんは、「こっちは命がけなんだ。運転のこともわからない人に、クルマのことをああた、こうだと言われたくない。」と言ったそうです。次期社長に向けて、この言葉を言い放つ成瀬さんもさすがですが、危険だと反対する周囲を押し切り、その言葉を受けて成瀬さんに弟子入り、のちにレーシングチームを作り上げて24時間耐久レースにまで出場する豊田前社長もまた、さすがの一言です。

その言葉以来、豊田前社長は趣味のゴルフも控え、成瀬さんのもとで運転技術を学んだそうです。そして、のちにこう語ります。「レースのために走ってるんじゃない。いいクルマづくりに必要な自分のセンサーに磨きをかけるためだ」と。リーマンショックなどの逆風を押しつけて、大企業を発展させ続けたトップが、現場を大切にしてきたことをうかがわせる言葉です。

豊田前社長にはたくさんのお言葉がありますが、そのひとつに「人間は経験したのからしか言葉と行動は出てきません」というのがあります。まさに自らが、この言葉を実践してきたわけですが、卒業間近の三年生に送りたい言葉です。



写真:トヨタグローバルニュースルームより

大人への階段を上りつつあるあなたたちには、今後たくさんの経験をしたいと思っています。実体験に裏付けられた力強い言葉とたくましい行動力を身につけてほしいのです。

3年生のみなさん、どうぞこれからの人生を自分の意志で、一步一步強く踏みしめながら歩いていってください。亀山中学校はこれからもみなさんを応援しています。そしてその成長した姿を見せてほしいと思います。卒業の日まであと4日…。



写真:Car Watchより



写真:トヨタタイムス 左:豊田前社長 右:成瀬弘さん